

平成29年度

男女共同参画社会づくりに向けての
市民意識調査 報告書

勝浦市

I 調査の概要

1 調査の目的

この意識調査は、男女共同参画社会の形成に向けて、広く市民の皆様に男女平等に関する意識やご意見等をお聞きし、今後の勝浦市の男女共同参画施策に反映させていくための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査の内容

- (1) 男女共同参画全般について
- (2) 家庭生活における男女共同参画について
- (3) 働き方における男女共同参画について
- (4) 社会活動等への参画について
- (5) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について
- (6) 人権・女性と男性の間に生じる暴力について

3 調査の設計

- (1) 調査地域……勝浦市全域
- (2) 調査対象者……勝浦市に居住する20歳以上の男女
- (3) 標本数………1, 000人
- (4) 抽出方法………住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法………郵送による配布・回収
- (6) 調査期間………平成29年7月12日から平成29年7月31日

4 回収結果

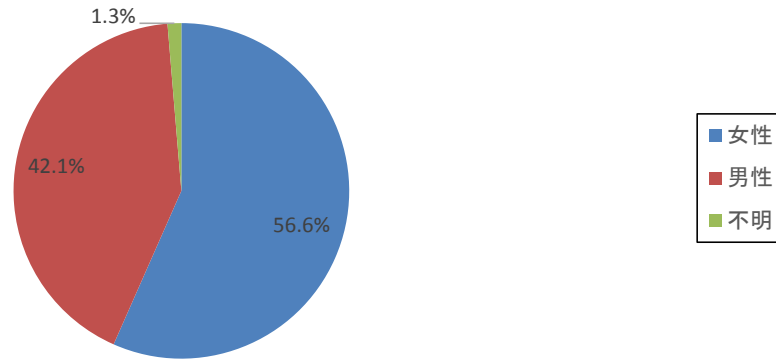
回収数 378人(回答率37. 8%)

5 報告書の見方

- (1) 各項目のはじめに質問形式と共に示してある単純集計のnは、回答者数のことです。
- (2) 分析に使用したパーセント表示は、原則として、小数点第2位で四捨五入して小数点第1位までを表示しました。したがって、比率の合計が100%にならないものがあります。

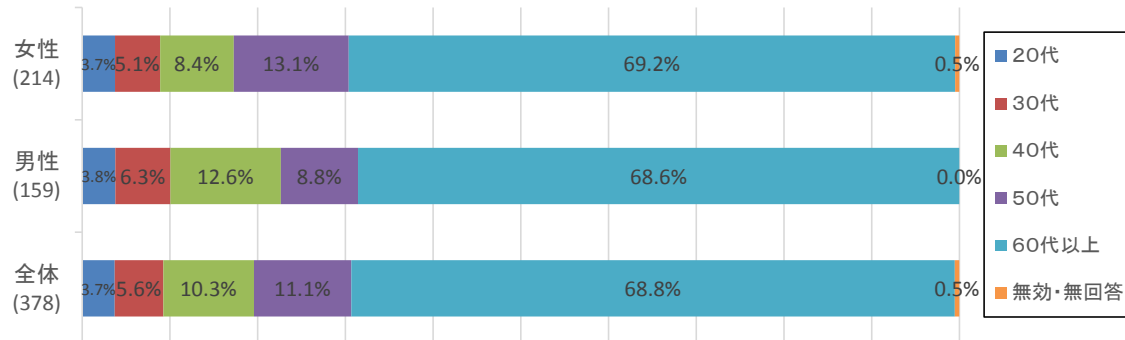
6 標本構成
(F1)性別

全体(n=378)



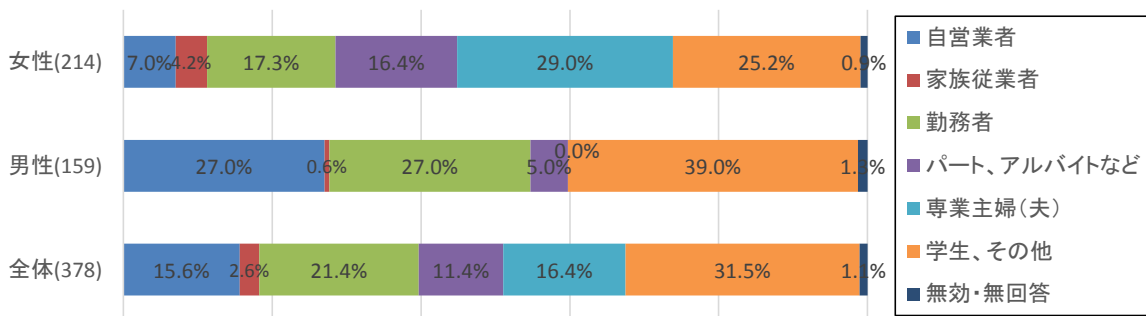
(F2)年代別

全体(n=378)



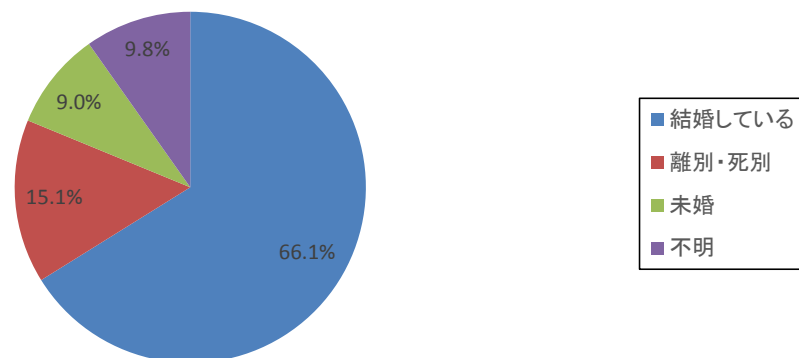
(F3)職業

(n=378)



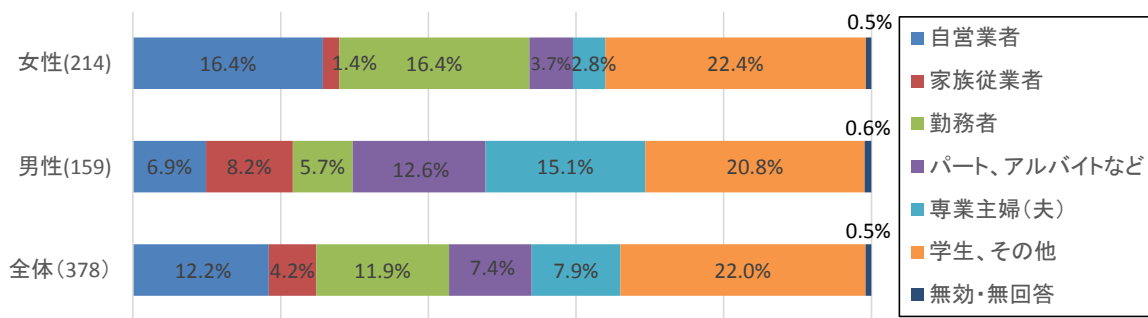
(F4)配偶者

(n=378)



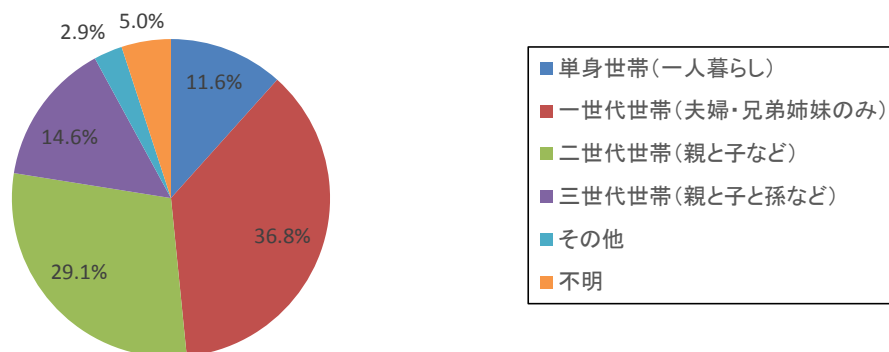
(F5) 配偶者の職業

(n=378)



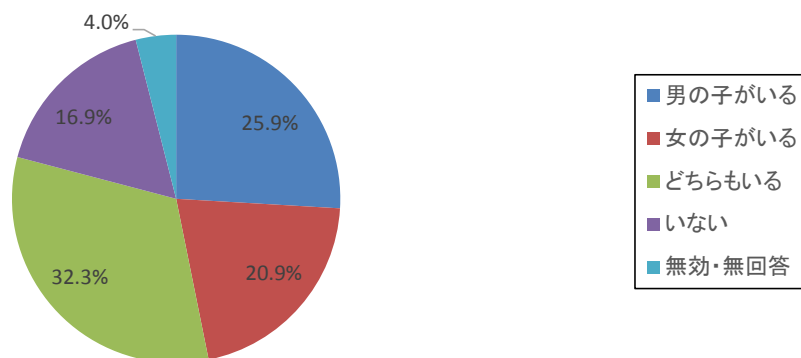
(F6) 世帯構成

(n=378)



(F7) 子どもの有無

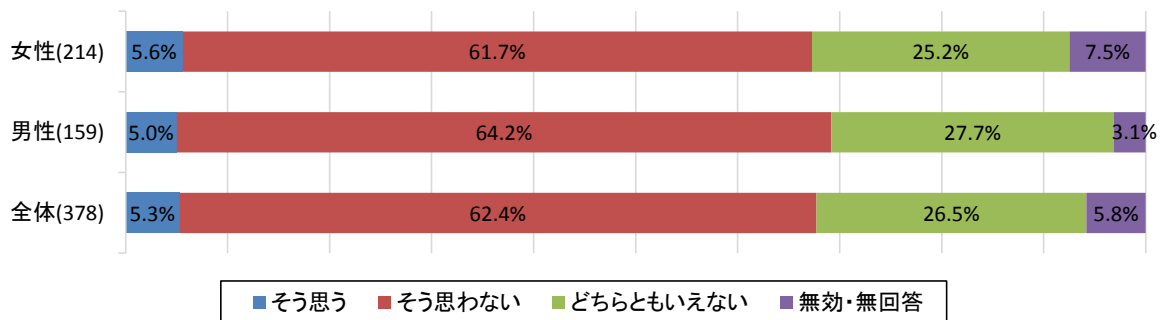
(n=378)



Ⅱ 調査結果の分析

【男女共同参画全般について】

問1 「男は仕事、女は家庭」といった性別によって男女の役割を固定する考え方(固定的役割分担意識)についてあなたの考えを教えてください。(○は1つだけ) 全体(n=378)

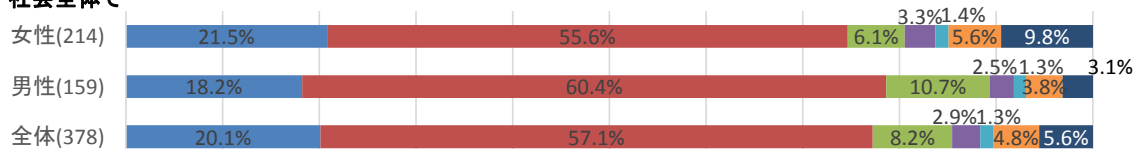


「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識について、男女とも『そう思わない』と回答した割合が最も高い。

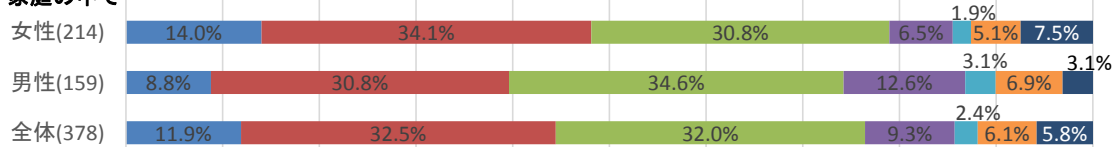
前回調査と比較し、『そう思う』と回答した割合は全体で7.7%減少し、『そう思わない』と回答した割合は10.8%増加した。

問2 あなたは、次のような場面での男女の地位について、どのように感じますか。
(それぞれについて1～6のいずれかに○) 全体(n=378)

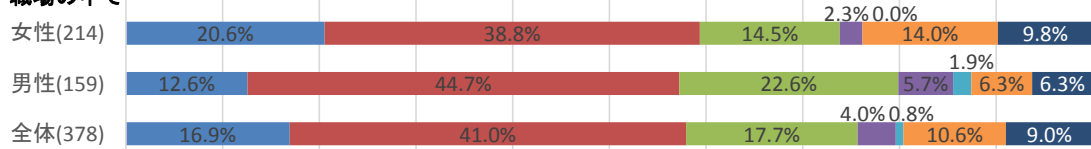
ア 社会全体で



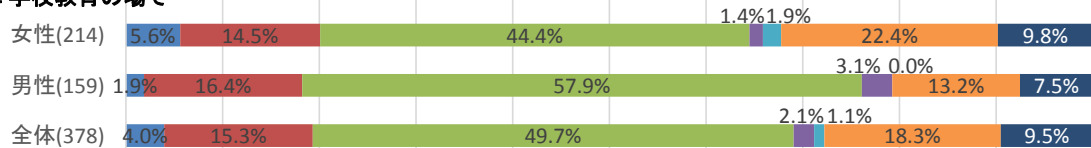
イ 家庭の中で



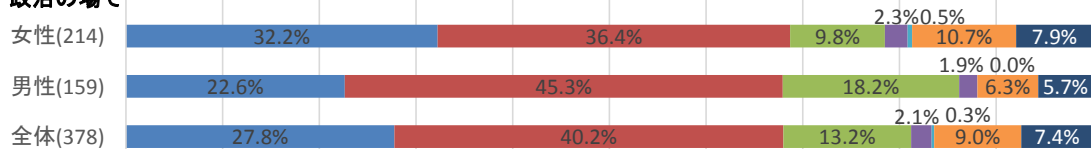
ウ 職場の中で



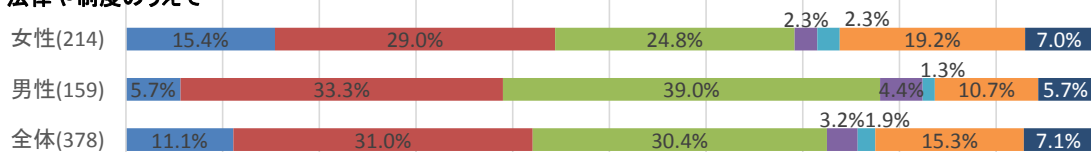
エ 学校教育の場で



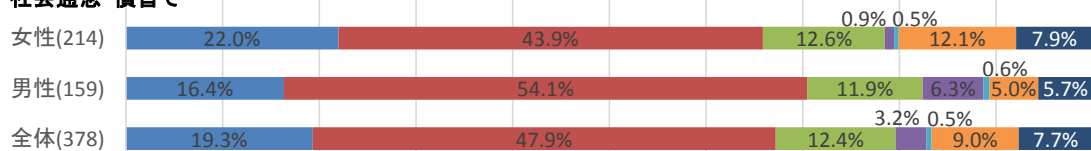
オ 政治の場で



カ 法律や制度のうえで



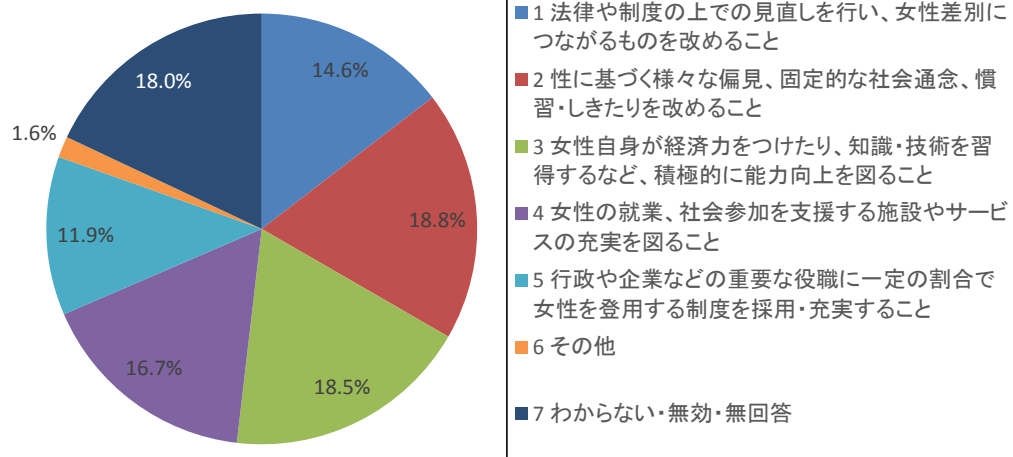
キ 社会通念・慣習で



さまざまな場面における男女の地位について、「エ 学校教育の場で」を除くすべての分野において男性優遇と回答した割合が平等・女性優遇の回答より高く、またすべての分野において女性優遇と回答した割合は男性優遇・平等の回答より低い。

前回調査と比較し、「ア 社会全体で」「オ 政治の場で」では平等と回答した割合が低くなっているものの、それ以外については微増となっている。

問3 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何でしょうか。(〇は1つだけ) 全体(n=378)

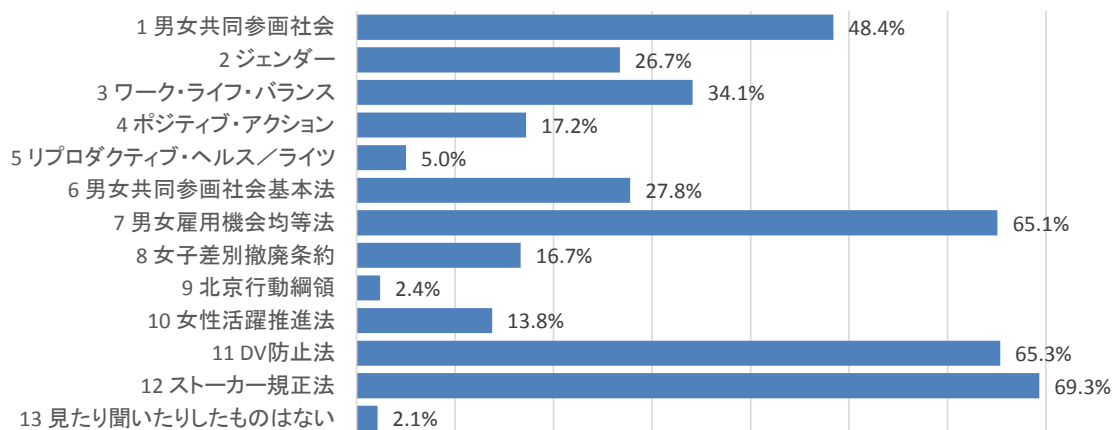


男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために何が最も重要であるかについて、『2 性に基づく様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること』と回答した割合が最も高く、次いで、『3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に能力向上を図ること』となっている。

(その他意見)

- ・女性は女性の役割、男性は男性の役割を考えてほしい。
- ・給料を平等にしてほしい。男だけ昇給の割合が多いのはおかしい。
- ・法律や制度よりも、地域の年長者の考えが変わらないとどうにもならない。
- ・そもそも平等は無理。
- ・男性だからとか、女性だからとかでなく、実力で実行されれば良い。

問4 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。(〇はいくつでも) 全体(n=378)



用語の認知度について、前回調査から引き続き挙げたものについて、『6 男女共同参画基本法』・『7 男女雇用機会均等法』・『8 女子差別撤廃条約』については前回より認知度が下がり、『2 ジェンダー』・『4 ポジティブ・アクション』については認知度が上がった。

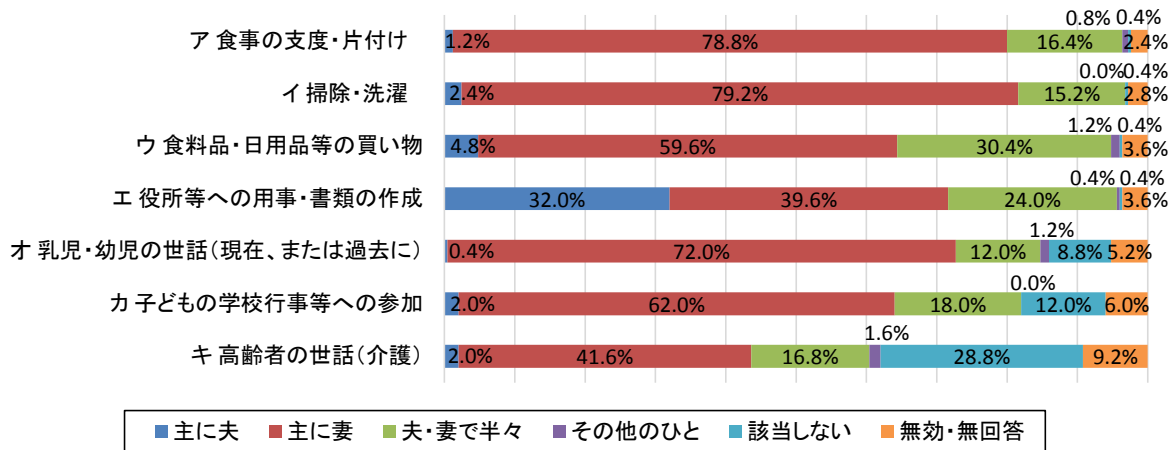
今回新たに挙げたものについては、『11 DV防止法』(65.3%)・『12 ストーカー規制法』(69.3%)の認知度が高かった。

【家庭生活における男女共同参画について】

問5 【現在結婚している方におたずねします】

あなたの家庭の役割分担について、あなたの現実と理想にいちばん近いものを、次の中から選んでください。(現実と理想それぞれについて1～5のいずれかに○) (n=250)

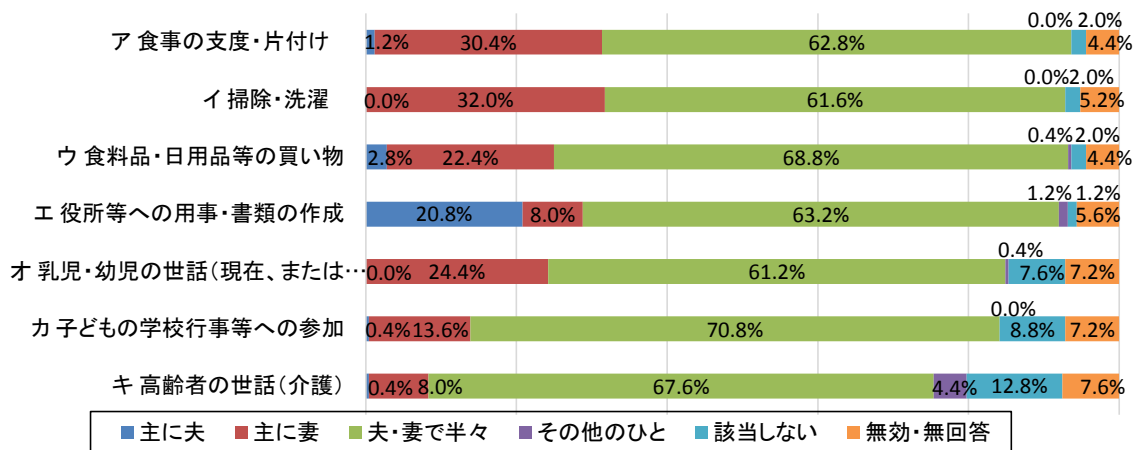
(現実)



家事等の役割分担の現実について、すべての項目で『主に妻がおこなっている』が最も多かった。「エ 役所等への用事・書類の作成」を除いたすべての項目で、『主に夫が行っている』が5.0%未満だった。

前回調査と比較し、すべての項目について『夫・妻で半々』が増加した。

(理想)

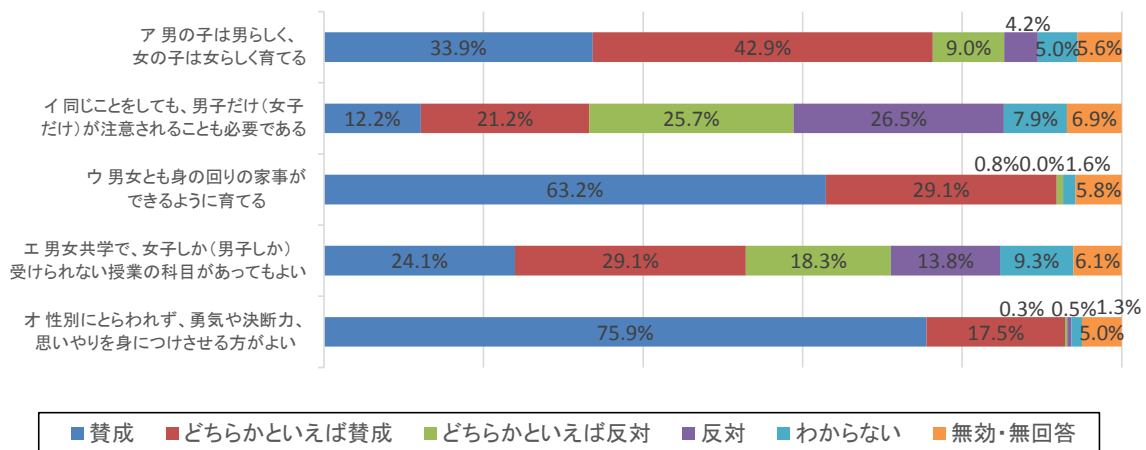


家事等の役割分担の理想について、現実と比較してすべての項目で『夫婦とも同じくらい』と回答した割合が高くなっている。

また、男女で比較すると、『主に妻が行っている』と回答した割合はすべての項目で女性よりも男性のほうが高くなっている。

前回調査と比較し、すべての項目について『夫・妻で半々』が増加した。

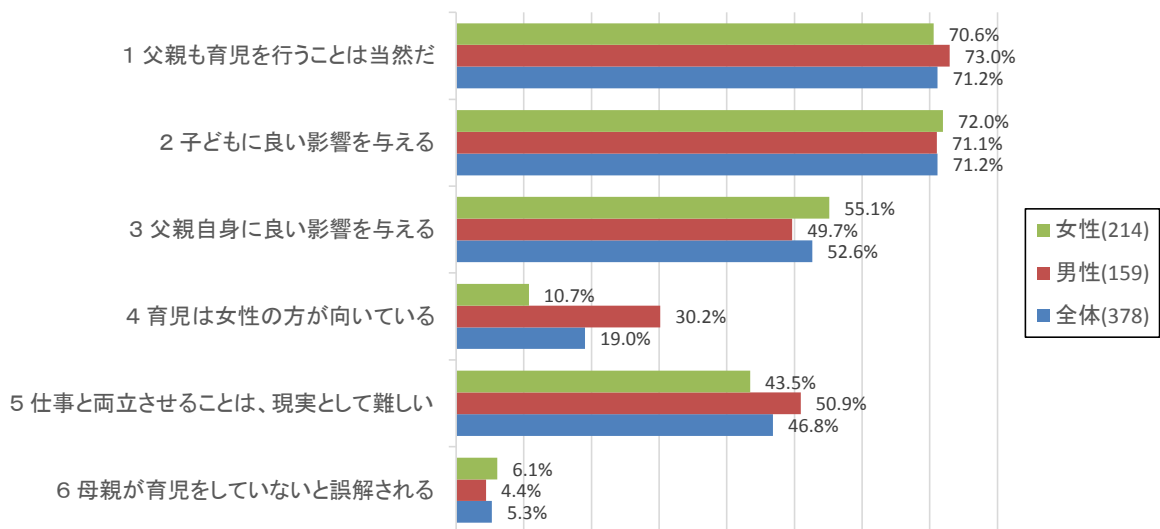
問6 【すべての方におたずねします】
あなたは、子どもの育て方に関する次のような方針について、どのように考えていますか。
(それぞれについて1～5のいずれかに○) 全体(n=378)



子どもの育て方に関する方針について、「イ 同じことをしても、男子だけ(女子だけ)が注意されることも必要である」以外のすべての項目で、『賛成』・『どちらかといえば賛成』と回答した割合が『どちらかといえば反対』・『反対』と回答した割合を上回っている。

前回調査と比較し、「ア 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるほうがよい」について『賛成』・『どちらかといえば賛成』と回答した割合が5.3%高くなった。

問7 父親が子育てに関わることについてどのように考えますか。(○はいくつでも) 全体(n=378)

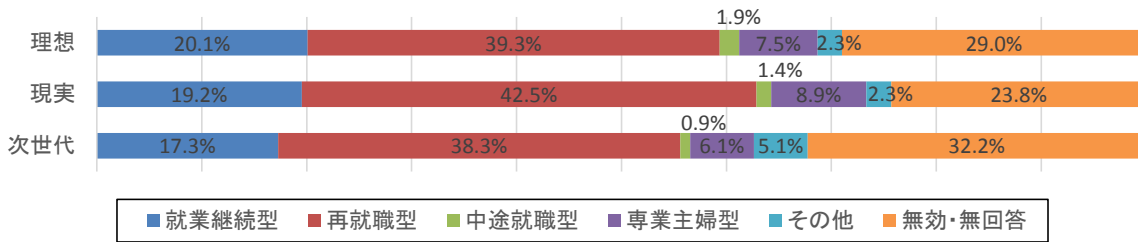


父親が子育てにかかわることについて、『父親も育児を行うことは当然だ』・『子どもに良い影響を与える』という回答をした割合は、男女とも70%以上だった。

男女間の乖離は少ないものの、「4 育児は女性のほうが向いている」については乖離が大きかった。

【働き方における男女共同参画について】

問8 女性の就業のあり方についてうかがいます。次の1～3について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを選び、番号を記入してください(番号はそれぞれに1つ) (n=214)
(女性自身が考える働き方について)

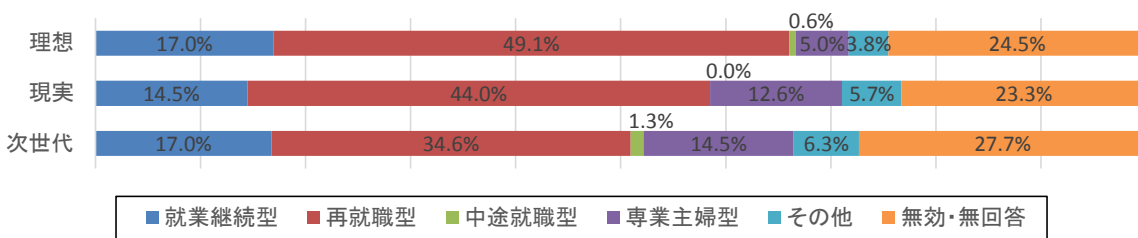


女性自身の働き方について、理想・現実・次世代の女性の就業のあり方として、子育ての時期に一時的に家庭に入るなどの『再就職型』と回答した割合が最も高く、次いで結婚や出産に関わらず仕事を継続する『就業継続型』と回答した割合が多くなっている。

前回調査と比較し、『就業継続型』と回答した割合は理想・現実・次世代すべてにおいて低くなっている。

(男性から見た女性の働き方について)

(n=159)



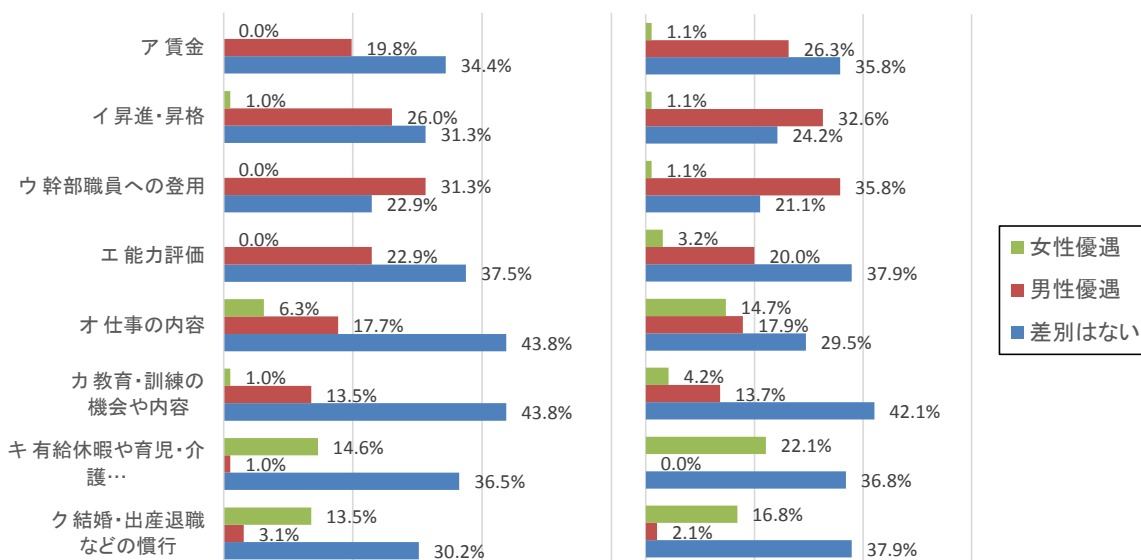
男性に女性の働き方について、女性と同じく理想・現実・次世代において『再就職型』と回答した割合が最も高く、次いで『就業継続型』と回答した割合が高かった。

問9 【現在、お勤めしている方におたずねします】

あなたの職場では、仕事の内容や待遇の面で、性別による差別はあると思いますか。
(それぞれについて1～6のいずれかに○)

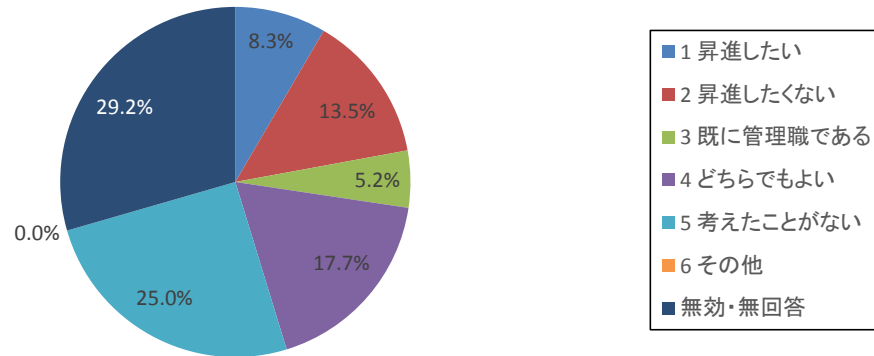
女性(n=96)

男性(n=95)



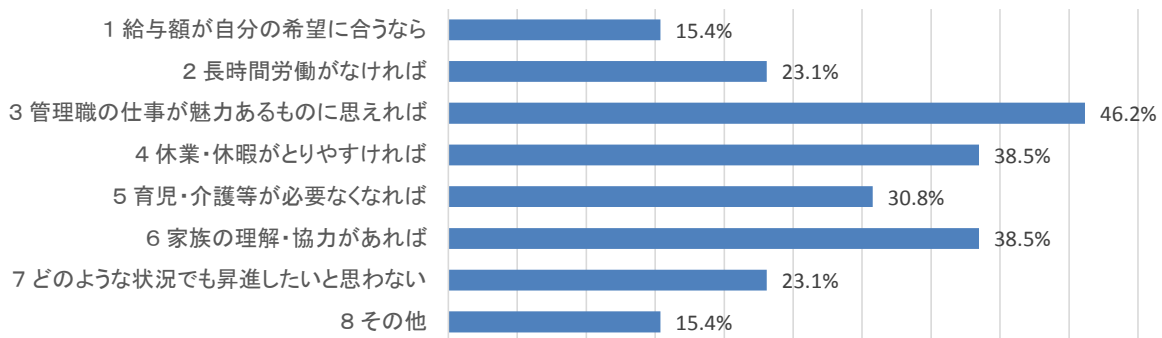
職場での性別による差別について、女性では「ウ 幹部職員への登用」を除くすべての項目について、『差別がない』と回答している割合が最も高かった。男性では「イ 昇進・昇格」・「ウ 幹部職員への登用」以外において同様の結果となった。

問10-1 【女性の方で、有職者の方と今後働きたいとお考えの方におたずねします】
あなたは、機会があれば管理職に昇進したいと思いますか。(〇は1つだけ) (n=96)



女性自身の管理職への昇任について、『考えたことがない』と回答している割合が最も高かった。

問10-2 【問10-1 で、2を選択した方におたずねします】
どのような状況が整えられたら昇進したいと思いますか。(〇はいくつでも) (n=13)

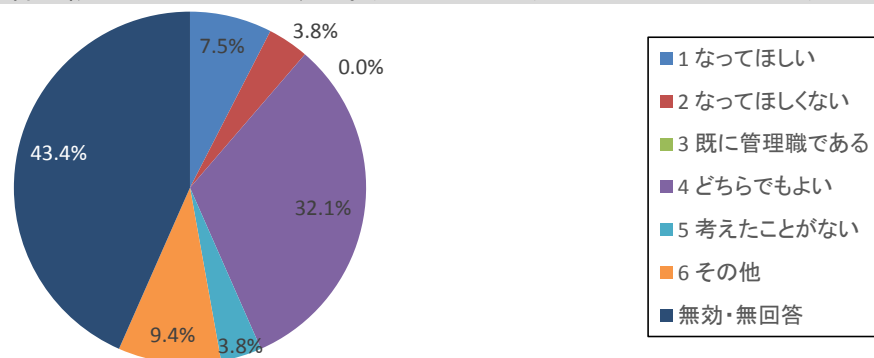


管理職に昇任したくないと回答した方に対し、どのような状況が整えられたら昇任したいか聞いたところ、『管理職の仕事が魅力あるものに思えれば』と回答した割合が最も高かった。

(その他意見)

- ・責任を持ちたくない。
- ・自分にそれだけの能力・資格があれば。
- ・女性の管理職には限界があると思う。男性と同じようにはいかないと思う。

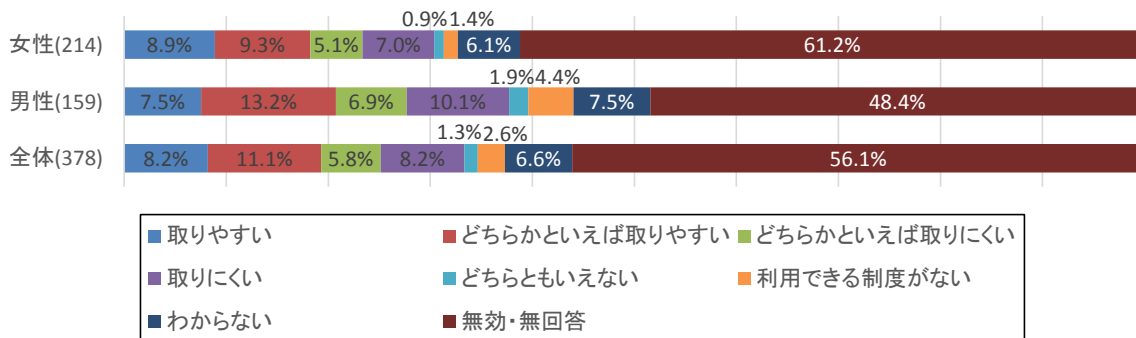
問11 【男性の方で、配偶者が有職者の方におたずねします】
あなたは、妻に管理職になってほしいですか。(〇は1つだけ) (n=53)



男性に対し、妻が管理職になっほしいかを聞いたところ、『どちらでもよい』と回答している割合が最も高かった。

問12 あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業をとりやすい環境にありますか。
(それぞれについて1～7のいずれかに○) 全体(n=378)

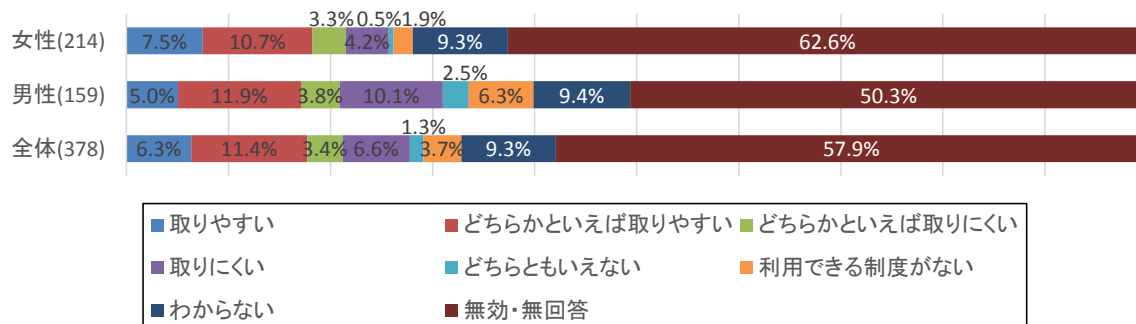
ア 有給休暇



職場における有給休暇の取りやすさについて、男女ともに『取りやすい』『どちらかといえば取りやすい』と回答した割合が『どちらかといえば取りにくい』『取りにくい』と回答した割合より高かった。

前回調査と比較し、『取りやすい』『どちらかといえば取りやすい』と回答した割合が全体で10.7%低くなった。

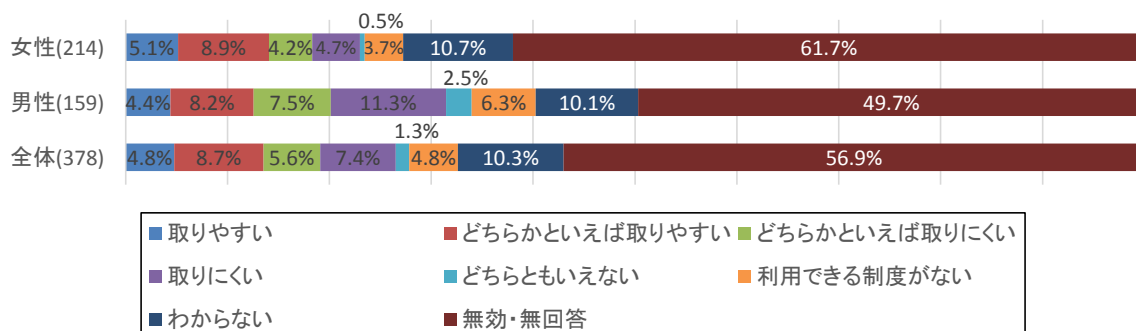
イ 育児休業



育児休業の取りやすさについて、男女ともに『取りやすい』『どちらかといえば取りやすい』と回答した割合が『どちらかといえば取りにくい』『取りにくい』と回答した割合より高かった。

前回調査と比較し、『取りやすい』『どちらかといえば取りやすい』と回答した割合が全体で7%低くなった。

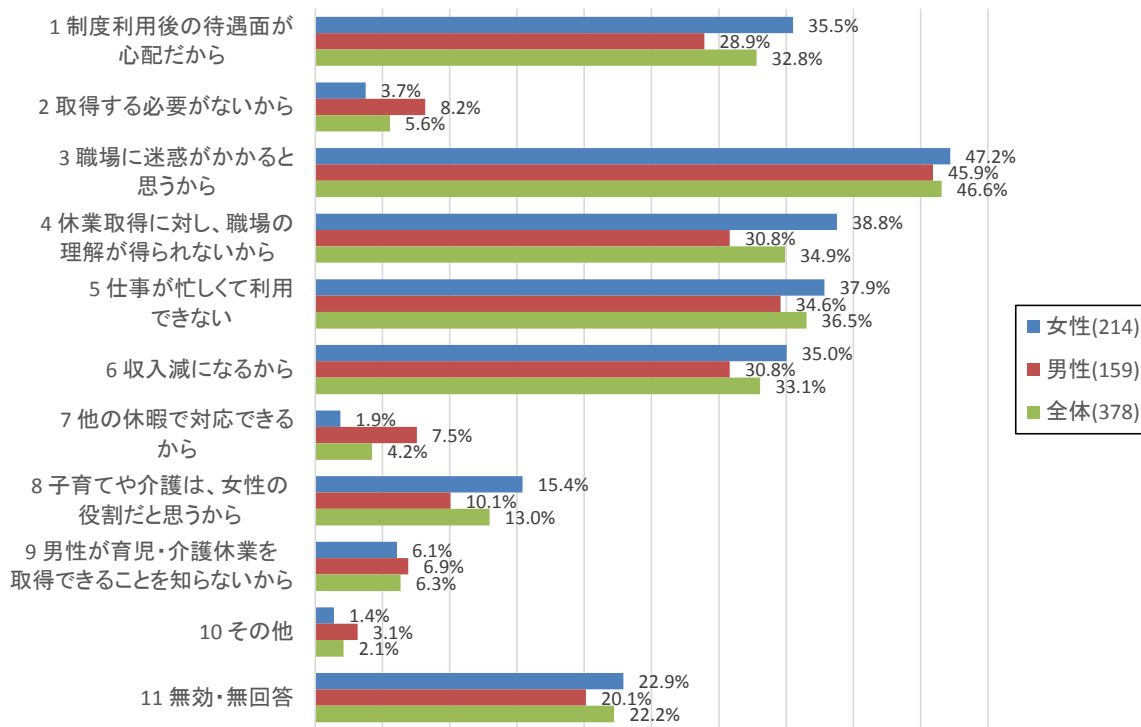
ウ 介護休業



介護休業の取りやすさについて、女性は『取りやすい』『どちらかといえば取りやすい』と回答した割合が『どちらかといえば取りにくい』『取りにくい』と回答した割合より高かったが、男性は逆の結果となった。

前回調査と比較し、『取りやすい』『どちらかといえば取りやすい』と回答した割合が全体で1%高くなった。

問13 育児・介護休業制度は、男女がともに取得できる制度ですが、男性の利用者が少ないのが現状です。その理由は何だと思いますか。(〇はいくつでも) 全体(n=378)



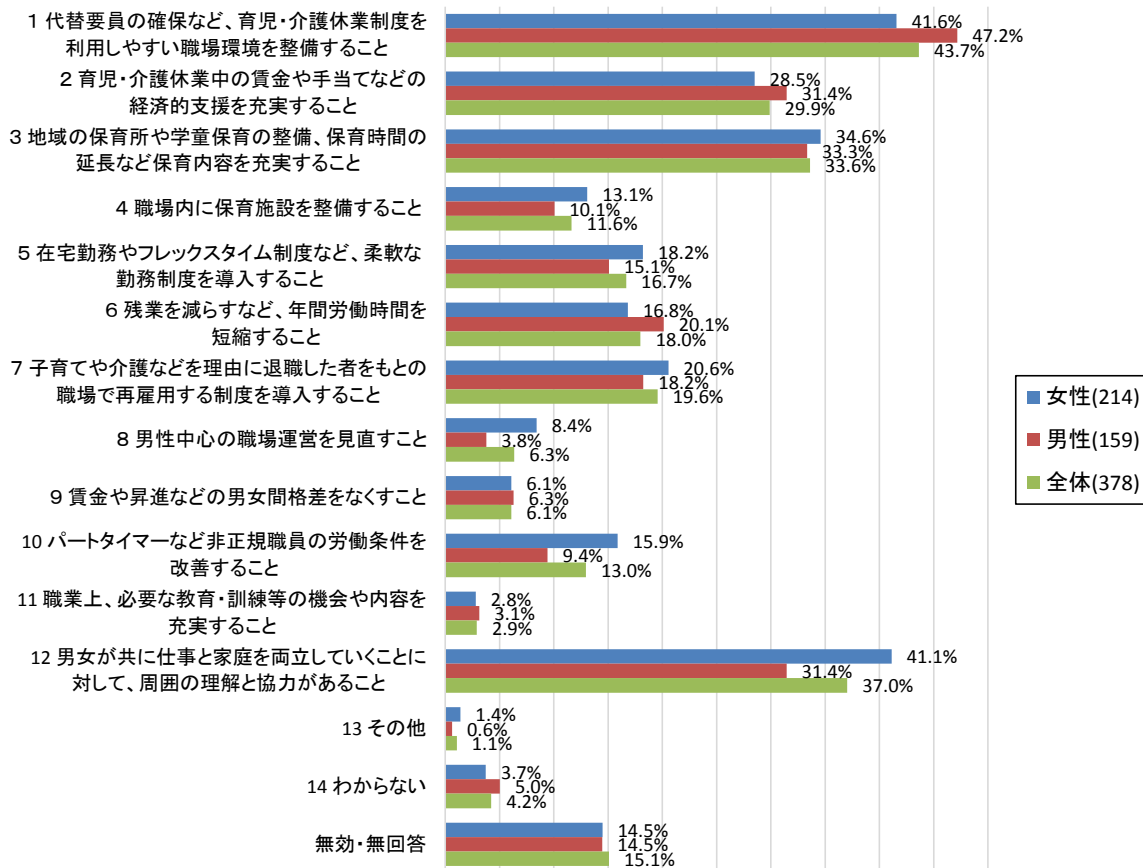
育児・介護休業制度の男性利用者が少ない理由として、『職場に迷惑がかかると思うから』と回答した割合が最も高かった。

男女で比較すると、『休業取得に対し、職場の理解が得られないから』と回答した割合で乖離が大きかった。

(その他意見)

- ・家庭の教育。
- ・女性ほどこまめに完璧にできないから。
- ・家庭の教育男性は育児制度等を利用するのが社会的にあまり認められていないから。
- ・制度の実行性と担保する強制力が不明確であるため。
- ・状況に応じて、休みを作ります。
- ・どうしても休業制度を取る必要があれば取りたい。

問14 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。(〇は3つまで) 全体(n=378)



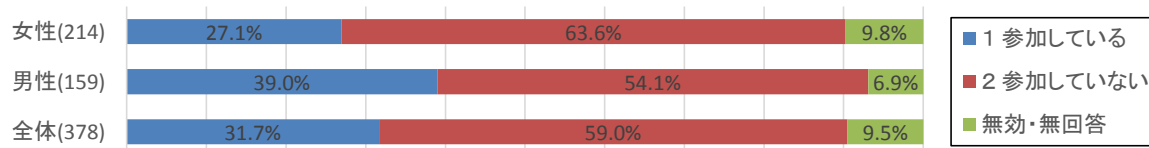
男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要な環境整備について、『1 代替要員の確保など、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること』と回答した割合が最も高かった。

(その他意見)

- ・男・女の考え方、両方が休みの場合女性の方が動く(家事や育児など)。
- ・女性支援の制度や活動はすでに多くあるので、男性支援のための制度や補助を増やすと良いと思う。
- ・例えば、市役所の方を見ていると、一部の課は遅くまで仕事をしている。多忙解消の人員確保、職員雇用の際の能力(のある人)等、環境が必要。
- ・全てを平等との考え方よりも、男女がそれぞれの特性を発揮できる仕事(職場)の創出が必要。

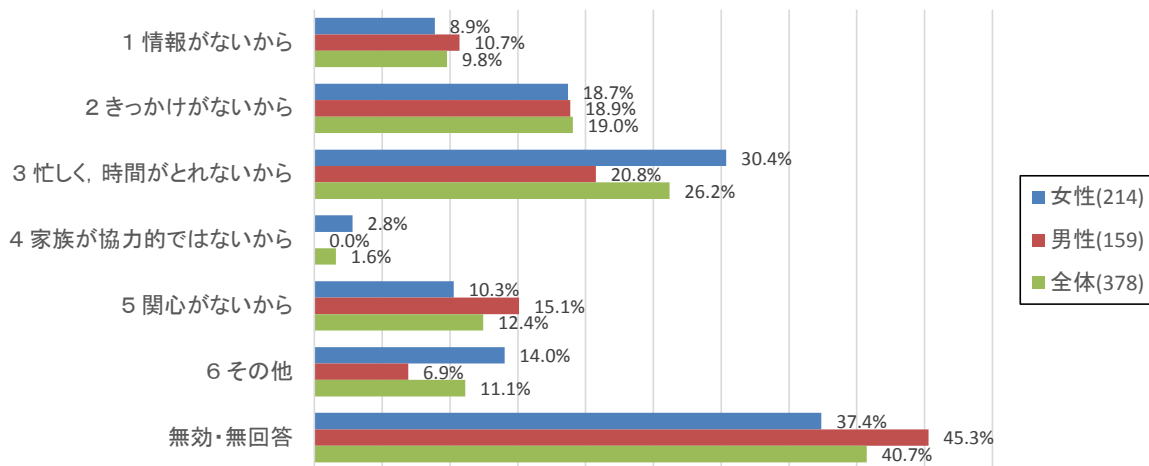
【社会活動等への参画について】

問15-1 あなたは、地域活動や市民活動に現在参加していますか。(〇は1つだけ) 全体(n=378)



地域活動や市民活動への参加状況について、男女ともに『2 参加していない』と回答した割合が最も高かった。

問15-2【問15-1で「2 参加していない」と回答された方におたずねします】
あなたが、現在、活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも) 全体(n=378)

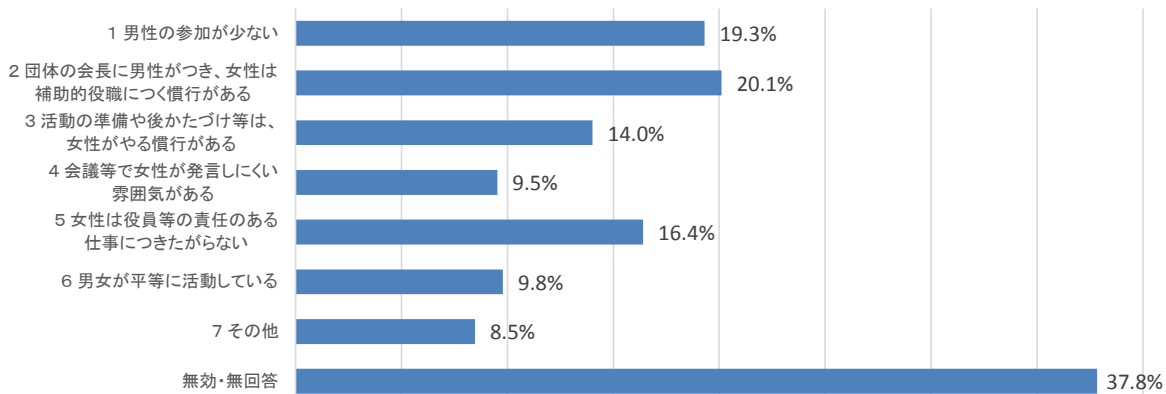


地域活動や市民活動に参加していない理由として、男女ともに『忙しくて時間がとれないから』と回答する割合が最も高かった。

(その他意見)

- ・高齢、または病気のため。
- ・活動の中で嫌な思いをしたから。
- ・意義のある活動が周りにあまりないから

問16 あなたは、地域活動等の現状についてどのように思いますか。(〇はいくつでも) 全体(n=378)

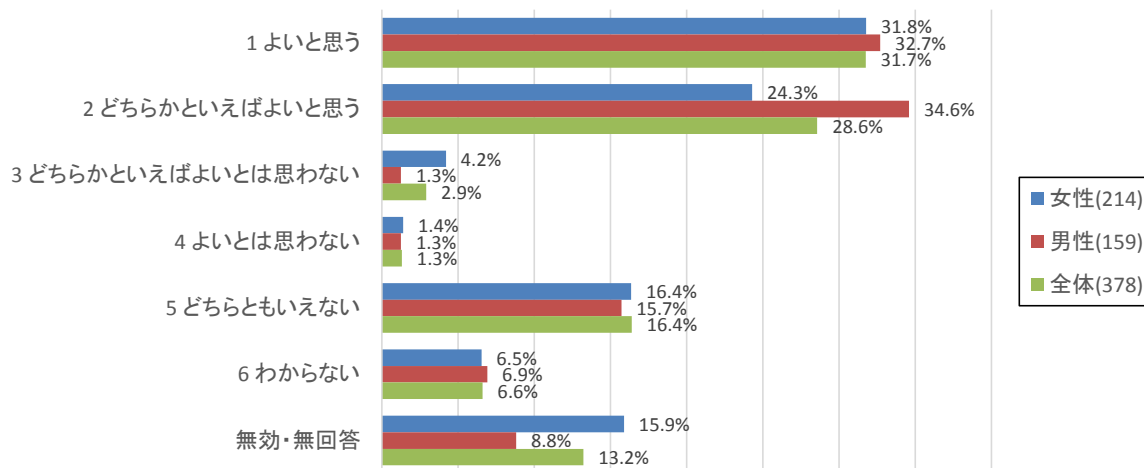


地域活動の現状について、『2 団体の会長に男性がつき、女性は補助的役職につく慣行がある』や『1 男性の参加が少ない』と回答した割合が高かった。

(その他意見)

- ・意見を言っても「生意気だ！」とののしられる。昔からの習慣が続いているため納得のいかないことが多いので参加できない。
- ・地域活動自体何が行われているのか分からない。
- ・女性が少ない。
- ・男女共他人の事より自分中心の考えの人が多い。協力していない。
- ・慣習や風習、伝統にかこつけて無駄な活動が多い。今の時代に合わない活動が多い。
- ・自分だけが儲ける事しか考えてない人が多い。地域活動して！

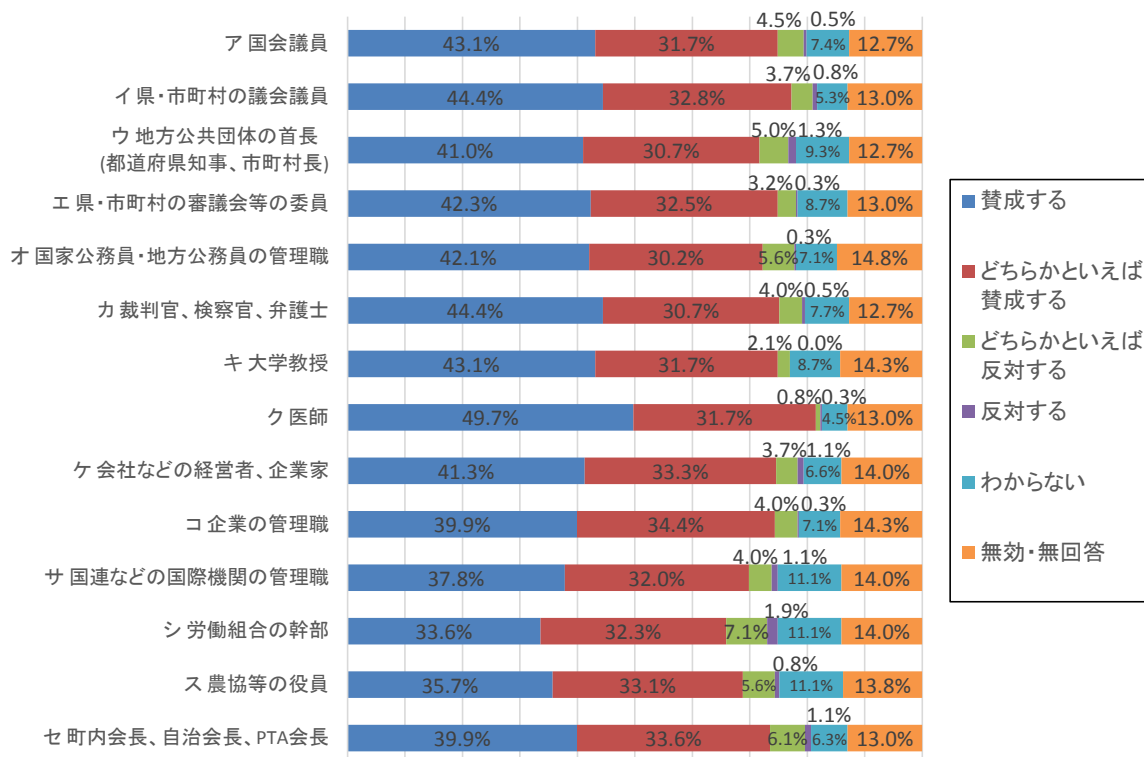
問17-1 あなたは、今後、様々な職業分野で指導的地位に占める女性の割合が増える方がよいと思いますか(○は1つ) 全体(n=378)



様々な職業分野で指導的地位に占める女性の割合が増えることについて、男女ともに『1 よいと思う』『2 どちらかというよいと思う』と回答した割合が高かった。

前回調査と比較し、『1 よいと思う』『2 どちらかというよいと思う』と回答した割合は1.6%低くなった。

問17-2 あなたは、次にあげるような政策・方針決定にかかわる役職・公職への女性の進出について、どのように思いますか。(それぞれについて1~5のいずれかに○) 全体(n=378)

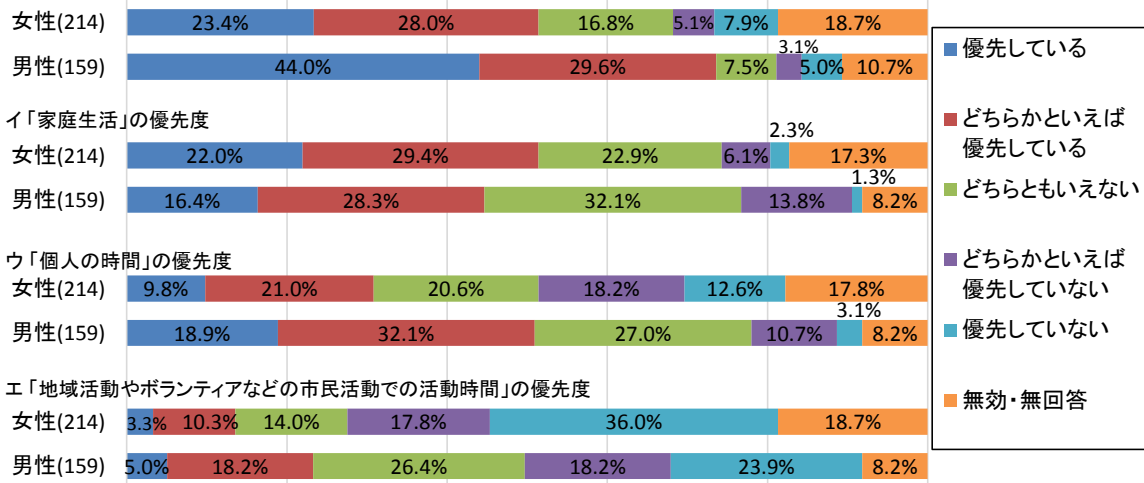


政策・方針決定にかかわる役職・公職への女性の進出について、すべての役職・公職について『賛成する』『どちらかといえば賛成する』と回答した割合が高かった。

【ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について】

問18 あなたの生活における優先度について、あなたの現実と理想にいちばん近いものを、次の中から選んでください。(現実と理想それぞれについて1～5のいずれかに○) 全体(n=378)
(現実の優先度)

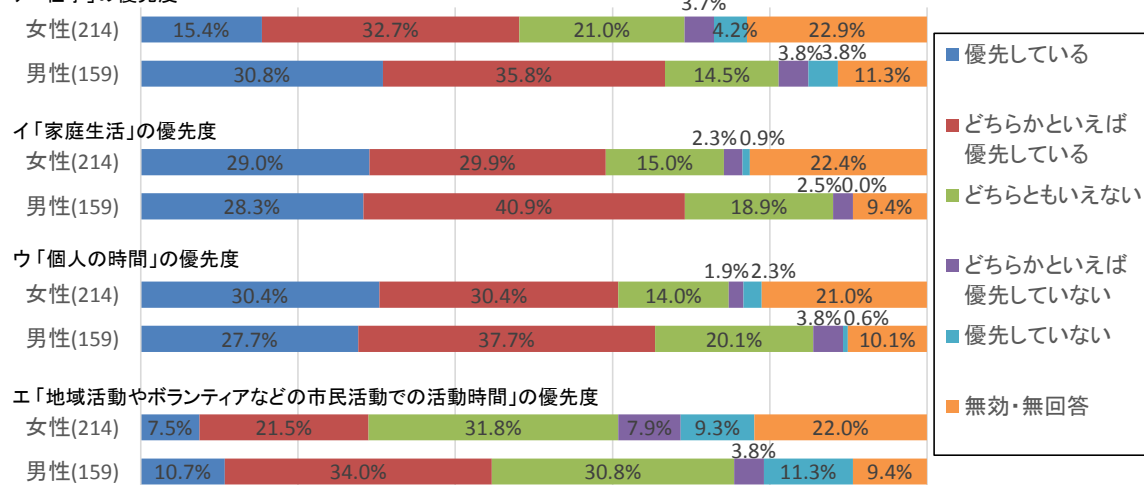
ア「仕事」の優先度



生活における優先度の現状について、男女とも、「ア「仕事」の優先度」・「イ「家庭生活」の優先度」では『優先している』・『どちらかといえば優先している』と回答した割合が高く、「エ「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度」では『どちらかといえば優先していない』・『優先していない』と回答した割合が高かった。

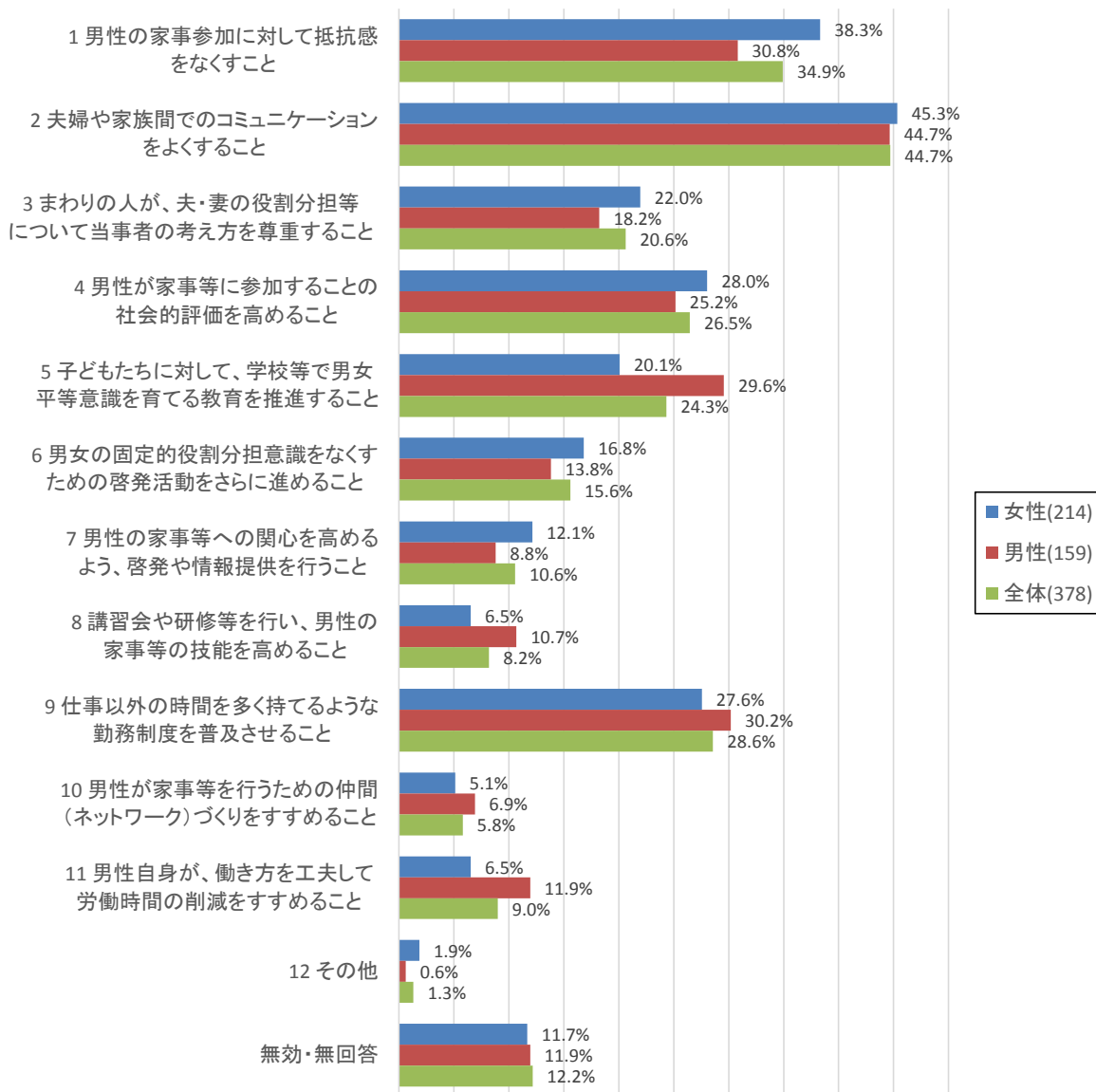
(理想の優先度)

ア「仕事」の優先度



生活における優先度の理想について、現状に比べ女性は「ウ「個人の時間」の優先度」の割合が高く、男性は「イ「家庭生活」の優先度」が高かった。

問19 あなたは、今後、男性が女性とともに、家事、育児、介護、地域活動やボランティアなどの市民活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで) 全体(n=378)



男性が女性とともに、家事、育児、介護、地域活動やボランティアなどの市民活動に積極的に参加するために必要なこととして、女性・男性ともに『2 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること』と回答した割合が最も高かった。

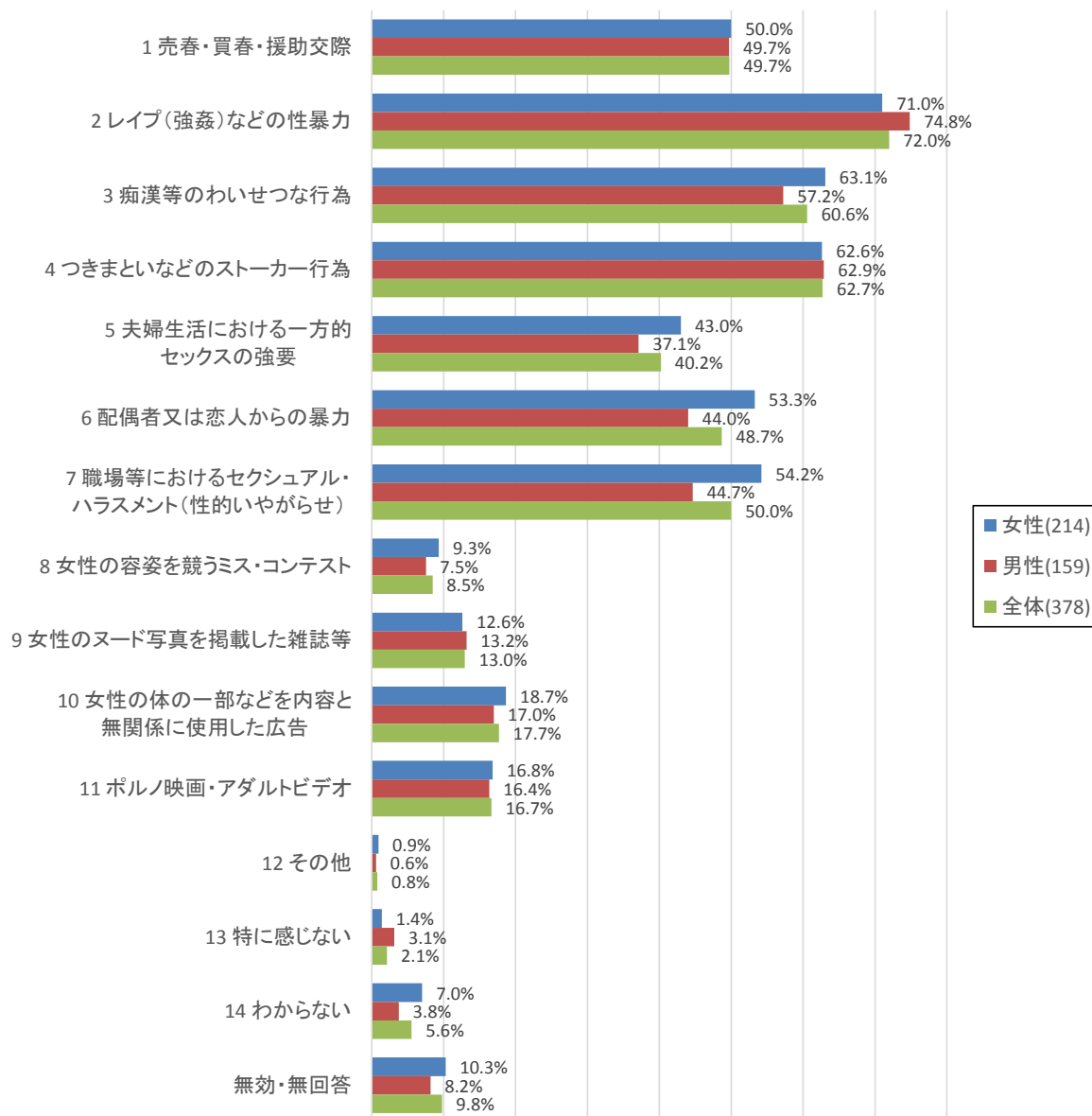
(その他意見)

- ・男性は生活の7割を持ってくるので、手伝ってくれるので良いと思う。男はここまで女はここまでと線引きしなくとも、家庭の中が回れば良い。
- ・男性が家事や育児に参加しても負担にならないように、女性が金銭的な面でも男性を支えること。
- ・無駄な活動は見直しをかけ、不要な活動は無くすべき。

【人権・女性と男性の間に生じる暴力について】

問20 次のうち、あなたが人権が侵害されていると感じるのは、どのようなことですか。
(〇はいくつでも)

全体(n=378)

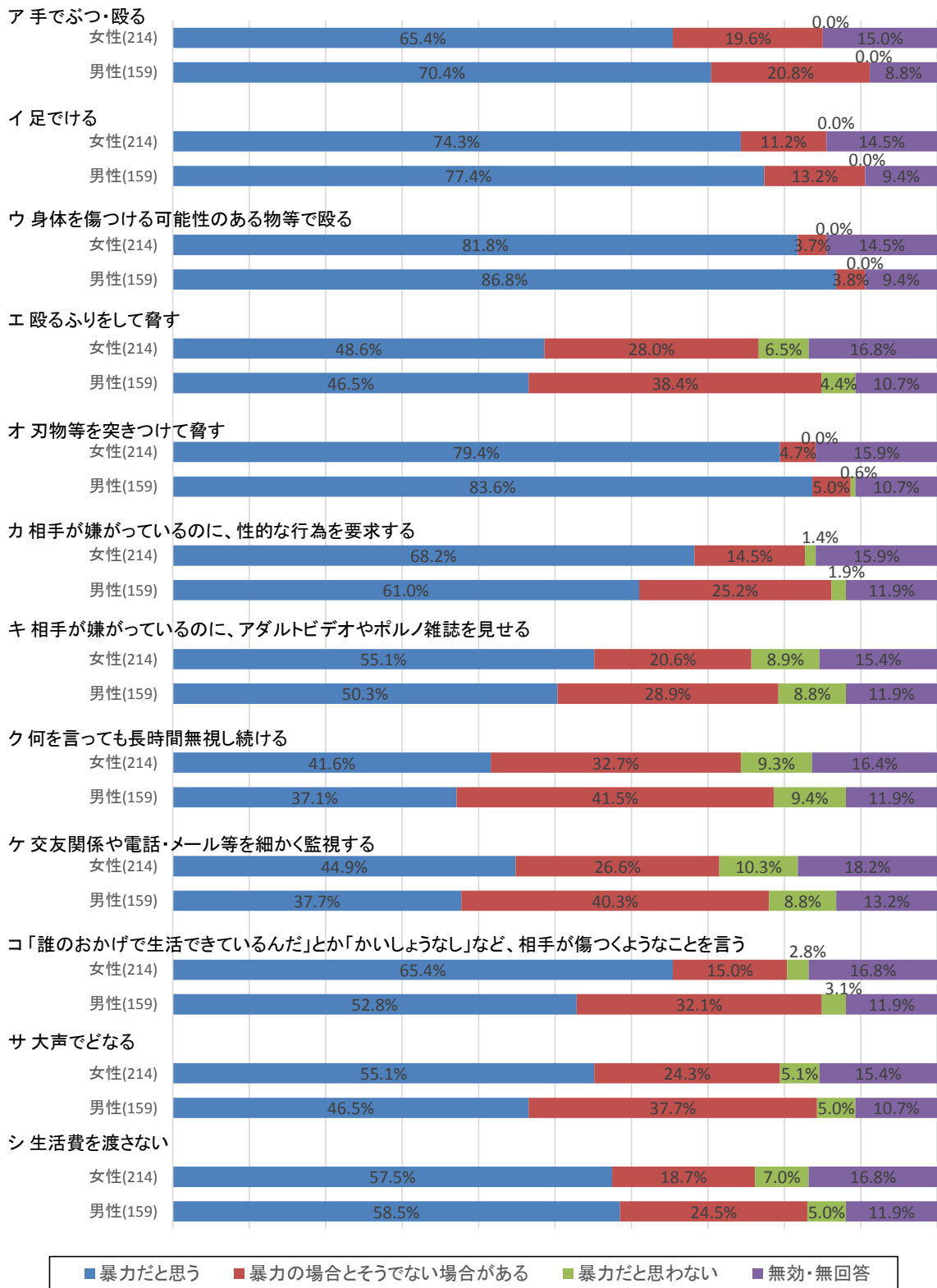


人権が侵害されていると感じる行為について、女性・男性ともに『2 レイプ(強姦)などの性暴力』と回答した割合が最も高かった。

(その他意見)

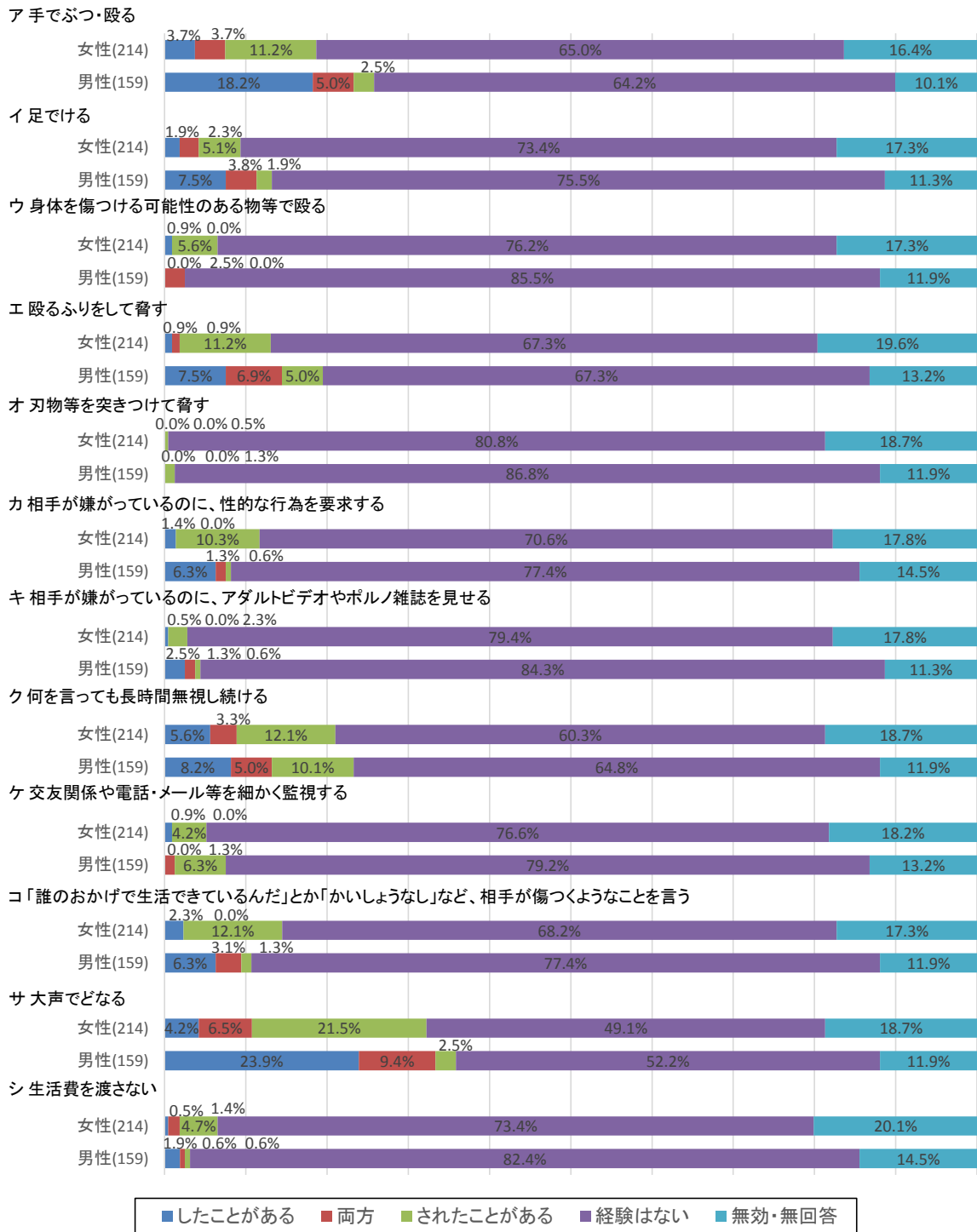
- ・児童ポルノ。
- ・痴漢冤罪・リベンジポルノ・一方の親がもう一方の親に子供を会わせない(離婚した際)。
- ・男女に関係なく起こるパワハラ

問21 あなたは、配偶者や恋人の間で行われる次のような行為を暴力だと思いますか。
(それぞれについて1～3のいずれかに○) 全体(n=378)



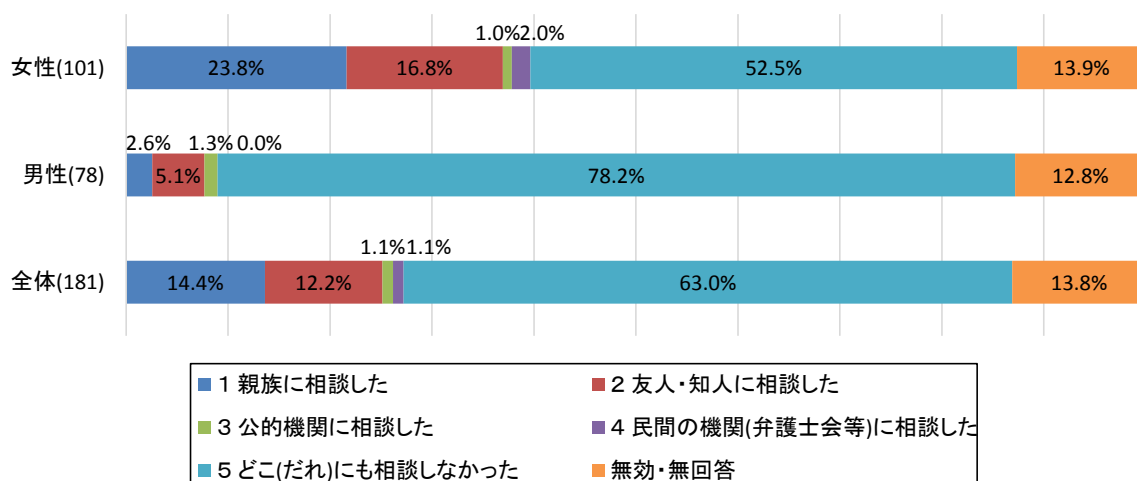
配偶者や恋人の間での暴力について、『ウ 身体を傷つける可能性のある物等で殴る』行為を暴力だと思うと回答した割合が最も高かった。また、『ク 何を言っても長時間無視し続ける』『ケ 交友関係や電話・メール等を細かく監視する』行為を暴力だと思わないと回答した割合が高かった。

問22-1 あなたは、配偶者や恋人との間で次のような行為を経験したことがありますか。
(それぞれについて1～4のいずれかに○) 全体(n=378)



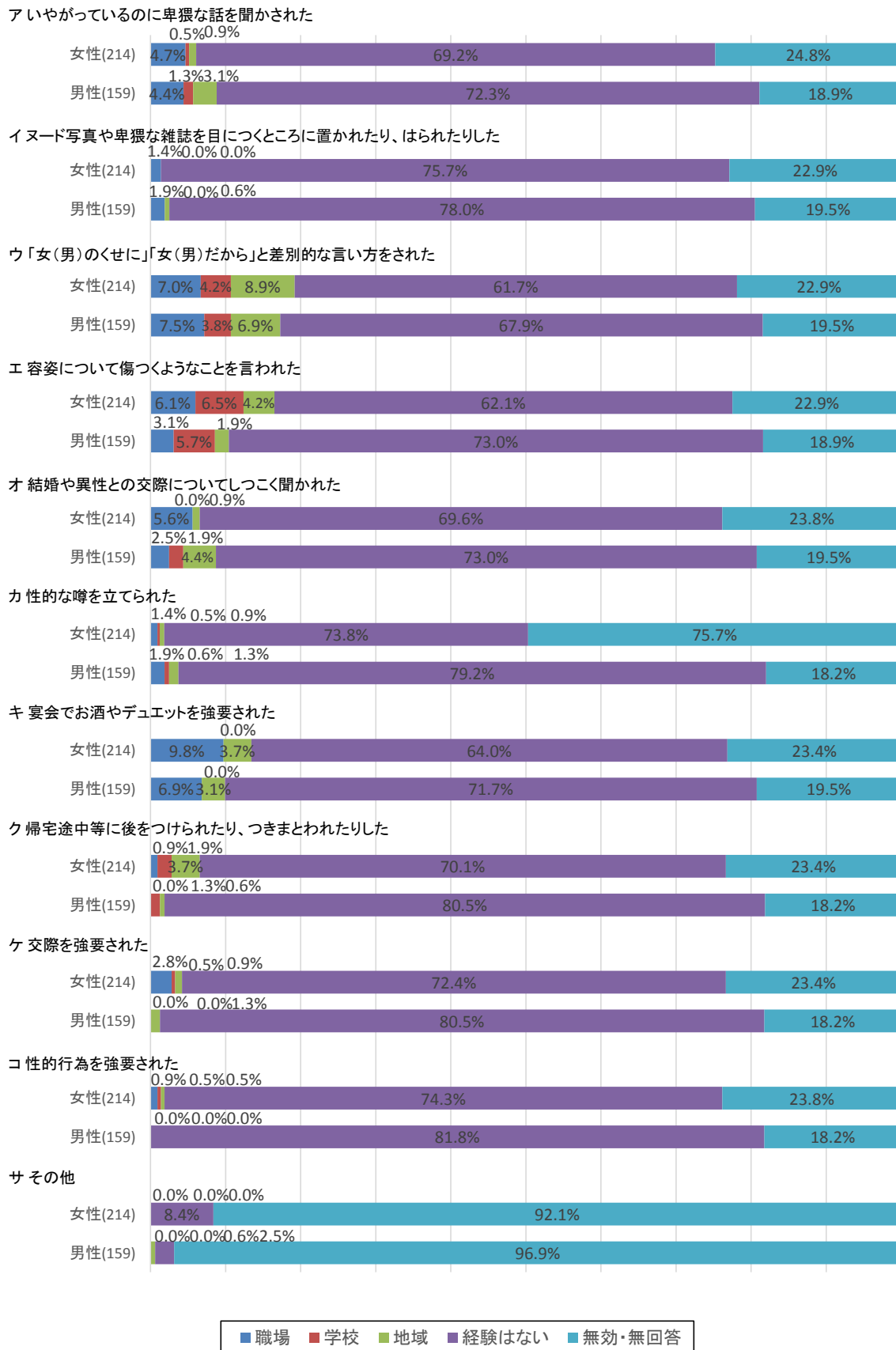
配偶者や恋人との間で、男性が女性にしたことのある行為について、『サ 大声でどなる』と回答した割合が最も高く、されたことのある行為については、『ク 何を言っても長時間無視し続ける』が最も多かった。
女性が男性にしたことのある行為、されたことのある行為については、いずれも『サ 大声でどなる』が最も多かった。

問22-2 【問22-1で1つでも「したことがある」「両方」「されたことがある」と回答された方のみ】
あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)(n=181)



自身が経験した暴力について、女性は43.6%が相談したと回答したが、男性で相談したのは9%だった。

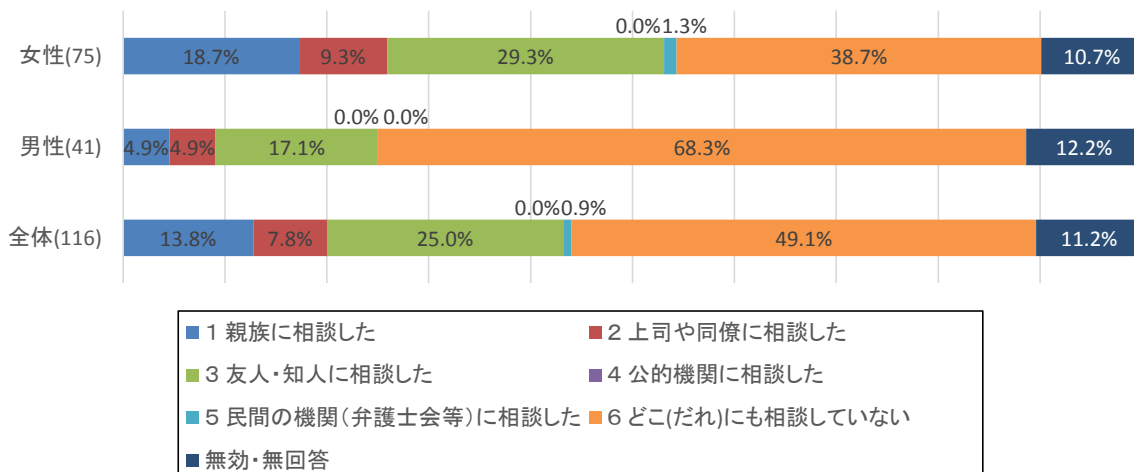
問23-1 あなたは、これまでに、職場・学校・地域で、次のような経験をしたことがありますか。
(○はそれぞれ該当するものすべて) 全体(n=378)



職場・学校・地域での暴力について、女性・男性ともに『ウ「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた』経験があると回答した割合が最も高かった。

問23-2 【問23-1で1つでも「職場」「学校」「地域」と回答された方におたずねします】
あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(〇はいくつでも)

(n=116)



職場・学校・地域において自身が経験した暴力について、女性は58.6%が相談したと回答したが、男性で相談したのは26.9%だった。

●男女共同参画に関する意見・要望

・なぜ男女を区別して考えるのですか。人間としての生き方を考えることが先だと思うのですが。

・男女共同参画でどんな策定をしたのか知らなかったので、申し訳ありませんがこの10年間どんな活動をしてどんな結果が出ているのか教えてください。(公報誌等で)

・仕事において正社員はみずから見本となって仕事をするべき。パートを低くみすぎる。パートがいなければどうなるかを考えてみる必要あり。パートもパートだと思い必要以上の仕事をしないのもおかしい。

・職場においてのパワハラやモラハラが増えているように思います。そして、立場の弱い女性が被害にあっているように思います。皆が平等で働きやすい環境を作ってほしいと思います。

・昔からの地域によるしきたりや固定概念が縮小するのは困難だと思う。今現在、男女逆転している部分や協力的な部分は微笑ましく思えるが、度が過ぎる部分もある。子供達の教育の部分で、大人の顔色を見て行動をしたり、また異性の前だけ良いかっこうをしたりする子供もいた(子育てしている時期)物事の良し悪しを自分の中で判断し決断できる様な子供達が増えて欲しい。また困った時に相談できる大人が増えると地域も明るい未来が見えてくるかもしれない。期待したいです。(狭い見解でスミマセン)

・祭りなどの地域行事では、昔からの習慣が長いこと改善もされずに続いています。地域行事は大切です。伝統を受け継ぐことが大事なことも分かっていますが、時代に合った合理性も取り入れていかなければ若い人たちがいやな思いをし、(特に女性)益々地域離れが加速してしまうと思います。男性には男性の、女性には女性のそれぞれの特性を上手に生かした社会への参加の仕方があれば・・・と考えます。今後の勝浦市の発展を強く望んでいます。

・女性の参画は、出産、育児があるので難しいと思います。理想は男女共同参画ですが。

・最近では女性の社会進出も進んで、女性としてはとてもありがたいですが、方向性としては傾き過ぎていると感じるところがあります。特に男性に対しての人権損害は認められてないばかりか、笑われたり無視されたりすることが多いと感じます。例えば女性から男性へのDV、レイプは法的にもほとんど認められていませんし、女性が有罪になるケースもとてもまれです。また、男性が子供の親権を持ってないこと、離婚後養育費を払っていても面会させてもらえない(女性の都合で、子供の意志に関係なく)のは、父親と子供両者の立派な人権侵害で、子供も長期にわたって悪影響が出ると考えられます。このことも、男性保育士への嫌悪なども、子供に関わる男性差別だと思っています。近頃では、痴漢冤罪で男性が社会的信頼を失う、職を失う、無罪であるのに逮捕・拘束され、しまいには死者も出ています。一番つらいのはその当事者の男性ですが、私も電車通勤する父がいるので、日々心配しています。このアンケートや男女共同参画はどちらかというと、女性の社会進出や女性への差別を無くすことが目的にあると思いますが、女性差別だけでなく男性差別という重大な性差別も同時になくしていかなければ本当の意味で性差別がなくなった、男女平等の社会になったということではできません。社会の一員、一人の女性としての意志ですが、少しでも耳を傾けてくれたら、幸いです。長文失礼いたしました。

・女性が権利に目覚め行動することは、望ましい事です、男性や周囲の人達と話し合う、理解をし合うことをあるり積極的にしていない、ただ、自分の思ったことを実行している、従って、自分勝手主義に走っているように見える。お互い、理解を深めるための話し合い、また、相手への思いやりの心も大切だと思います。

・現在67才。もっと若い方にアンケートお願いした方がお役に立つのではないのでしょうか。

・いろいろとアンケートに協力させていただき有難うございます。私は八十歳を過ぎております。今の世の中家族等があまりにもへだたりが有り周りを見ても女性が働くということは決して悪い事ではないのですが主人子供そっちのけで遊びに行ったり友達と出掛けたりすることをよく見たり聞いたり致しますが、子供が小さい時はやはり母親です。やはり家の主は主人であり家庭を守るのは妻であり母親です。今の女性はあまりにも子供を平気で家におき自分だけが出掛けるといのはどうでしょうか。女性進出がよく言われますが、男女平等と良く言われますが決して平等ではないと思います。男は男、女は女です。節目があると思っております。家庭を持ったら、一生懸命家庭を守る夫であり妻であると思ひます。老婆心より。

・男が家事育児に関心を持たないのは日本の風習にあると思うので中々難しいと思う。

・民間及び地域では、この様な考えは進んでないと思います。市の方でも委員会等に女性を選んでいる様ですが、出席した事のある女性からの話だと、どうして私がという感じが否めません。議論している内容も理解が難しく、これでは賛成の為に参加させられた様なもので納得のいかない後味の悪いものだったと語っておりました。男女共同参画社会づくりといっても難しい問題ですが、どうか慎重に計画を策定して下さい。

・個人的に、女性サイドで物事を言っているようでない。今は、男性の住みにくい世の中、大変な世の中になっている気がする。女性が弱い者から強い者へ、男性の負担が多くなりつつあると思う。平等は良い事であるが、それぞれいろいろな形で良いのでは？ただ、弱い者を守ることは大事だと考えます。

・現在社会において男女の格差はなく、平等な社会を築いてゆくことは当然で自然な成り行きであると思う。

・6年前に勝浦に戻ってきましたが、思っていたよりも男性優位な社会ではありませんでした。むしろ女性の方が無条件に優遇してもらえる、と考えているのでは？と思うこともあります。個人的には、やや右的思考なので、男性を立ててくれる女性(最近減りましたよね・・・笑)を見ると‘オ’ッと思います。

・こんな事してもむだ。

・最近、これまで男の仕事と決めつけていたようなことを、見事にこなしている、多くの女性が見受けられるようになり、偏見の目で見ることの愚かさを感じている次第です。

・従来永く続いた男性優位の状態を、社会、家庭共に男性が協力出来る事は、女性と協力して女性の人権を平等に認める事が重要であると考えます。そのためには社会、事業者の理解、協力が必要と思ひわれます。

・男女平等の社会であり女性の社会的進出は当然です。ただし、男女が体力的な面などにおいては、平等ではないことがあり、男性、女性の役割的な面もあると考えます。